

Open Campus

2022

模擬授業一覧 (予定)



7.23	英語で書かれた文学における比喩とシンボルの探求 講師:平野 幸治	比喩やシンボルは文化や歴史とともにあります。「浪費する」という意味で「湯水のように使う」という比喩は水が豊かではない地域には無効です。「下駄を預ける」という表現は頻繁に使われなくても残るかもしれませんが「理解の世代間のギャップ」という課題も見えます。王権のシンボルである王冠が人の間を彷徨い「嘆きの王冠」となる筋立てはシェイクスピア劇のテーマの一つです。では、ハリポッターシリーズのテーマをシンボルから考えると何でしょう？
	Imagine英語の歌を通して平和を考えよう 講師:近藤 佐智子	この授業ではまずJohn Lennonの生涯や記念の場所について簡単に英語で紹介します。そしてImagineという曲を鑑賞し、歌詞の聞き取り練習をした上で歌詞の意味を考えます。次にこの歌にどのような考え方やメッセージが表現されているかを考えます。そこからヒントを得て、私たち一人ひとりが世界の平和について何ができるのかを考え、それを英語でwritingとspeakingの形で表現する力をつけます。
	時間の謎 講師:丹木 博一	過去はもう存在していないし、未来はまだ存在していない。現在もまた絶えず流れ去ってしまい、とどまる場所がない。私たちが生きているのは諸行無常の世界である。しかし、それにもかかわらず、私たちは過ぎ去ってしまっていないはずの過去の記憶に悩まされたり、まだないはずの未来に対して不安や希望を抱いたりする。また現在はそのつど過ぎ去ってしまうとはいえ、私たち自身が過ぎ去ってしまうわけではなく、生きている限り、そのつど今を生きている。このように時間には、無いはずのものが有るという矛盾が潜んでいる。時間を生きることの謎について哲学してみたい。
8.27	中世ヨーロッパの本の文化—彩色写本に何が書かれているのか 講師:森下 園	中世イングランド、スコットランド、アイルランドなどでは、カラフルで細かい装飾がほどこされた美しい福音書(聖書)の写本が作られました。中世の人々はどのようにして本を作っていたのか、イングランドの福音書の挿絵の奇妙な人物画にはどんな意味があるのか、イングランド、アイルランド、北欧、地中海の文化がその挿絵にどのように反映されているのかを考えます。具体的には『リンディスファーン福音書』『ケルズの書』やアングロ=サクソン時代の工芸品、石碑などのデザインを見ていきます。
	“Do you have a pen?” この英文を日本語にできますか? ~日英間の翻訳から見えてくる言語と文化の接点 講師:神谷 雅仁	ことばはそれが使われる社会や文化とは切り離すことができないほど密接につながっています。中でも、言語(構造)がその話者の世界観・物の見方・考え方などに影響を与えるということについてはよく知られています。これはサピア=ウォーフの仮説と呼ばれますが、その仮説によると、私たちがどのようにこの世界を見ており、またどのように物事をとらえているかは、自分たちの母語による「現実の切り取り方」の違いに起因すると言われます。このようなテーマのもと、日本語と英語の翻訳作業を通して、二言語間に横たわる言語化される情報の差異とそこからくる認識のズレについて考察します。
	Let's think about Poverty around us (SDGs goal 1) 講師:岩崎 明子	やさしい英語で、世界のこどもの貧困の現状の説明を聞いて、単語や内容の要点をクイズに答える形で理解したあと、さらに短い映像やグラフの説明を視聴し、「何を思ったか、考えたか」を近くの人とシェアリングします。最後に、貧困の起こる原因や苦しむ子どもたちのために何ができるかを意見を出し合ってみましょう。
9.17	ことばとアイデンティティ 講師:宮崎 幸江	子どもはことばを使って、人と交流し、意思を伝え、さまざまなことを学びます。あることばを習得するということは、その言語を理解する人々の文化の担い手になるということでもあります。また、ことばは単にコミュニケーションの道具ではなく、アイデンティティを伴うものです。では、複数の言語を話す人々の場合、どの言語にアイデンティティを持てるのでしょうか。ことばとアイデンティティの関係は、人によって異なり多様で複雑です。皆さんで、ことばとアイデンティティについて皆さんで考えてみましょう。
	Some Tips for Better Conversations 講師:ティモシー グールド	The lecture and activities will teach you about how to have better English conversations, and then you will have a chance to practice what you learn.
	「アダムとエヴァが食べたのはりんごの実ではなかったそうだ」 講師:小林 宏子	日本は無宗教の人が多いと言われますが、宗教人口に関するデータを見ると世界人口の約3分の一はキリスト教徒です。その意味で、世界の人々と交流する上でキリスト教や聖書の中の有名な人物やエピソードについて知っていることは役に立つでしょう。ところが、一般的な説明の中には、聖書の記述が本当に伝えようとしていることを誤解させる表現も含まれます。そこで、この模擬授業ではその代表例として「アダムとエヴァの物語」を取り上げます。聖書は二人が食べた木の実がりんごであったとは言っていません。では、何の木だったのでしょうか、そして、その木の意味はどのようなものなのでしょうか。一緒に考えます。

お申し込みはこちら



上智大学短期大学部
SOPHIA UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE DIVISION

〒257-0005
神奈川県秦野市上大槻山王台999
TEL:0463-83-9331 (代表)
<https://www.jrc.sophia.ac.jp/>